

7. 新市名称決定

新市名の決定にあたっては、協議会において、市民の合併問題に対する関心の喚起、市民参加の推進を図ることなどを目的に広く一般から公募することとなり、平成14年8月26日から平成14年9月25日の1か月間にわたって公募が行われた。その結果、7市町村はもとより、全国各地から2,861通、種類として1,064種類の名称が寄せられた。

新市名称候補選定小委員会では、これら公募により寄せられた名称の中から、新市にふさわしい名称を3点選定し、協議会に報告し、第17回協議会において「伊賀市」に決定された。

(新市名候補選定基準)

新市名候補は、漢字、ひらがな及びカタカナにより表記された読み書きが容易な名前で、次のいずれか1つ以上に該当する名前とする。

- | | |
|------------------------|----------------------|
| (1) 伊賀地域が地理的にイメージできる名前 | (2) 伊賀地域の特徴を表す名前 |
| (3) 伊賀地域の歴史・文化にちなんだ名前 | (4) 市民等の理想・願いにちなんだ名前 |
| (5) 合併を記念した名前 | (6) その他新市名としてふさわしい名前 |

(選定)

【一次選定】

具体的な新市名候補の選定にあたっては、まず、応募作品を上記選定基準に基づき、「新市名としてふさわしい名称」を委員、ひとり、1件から5件を選出し、順位的一位のものを5点、二位4点、三位3点、四位2点、五位1点で得点を付け、選定した作品に配分した。結果、次の8作品が選定された。

伊賀市	34点	伊賀上野市	6点
いが市	20点	新伊賀市	5点
畿央市	9点	伊賀の里市	2点
西三重市	7点	芭蕉市	2点

【二次選定】

一次選定に候補としてあげられた名称8作品の中から、さらに「新市名称としてふさわしい名前」について選定した結果、次の3作品を新市名称候補として挙げられた。

- | | |
|------------|--|
| 伊賀市 (選定理由) | ・「伊賀」という言葉は、地域をよく表している。
・地名度において優れている。
・応募数から住民等の要望の強さが感じられる |
| いが市 (選定理由) | ・「いが」という言葉は、地域をよく表している。
・地名度において優れている。
・応募数から住民等の要望の強さが感じられる
・ひらがなの「いが市」は新しいイメージを与え、「新伊賀市」の持つコンセプトも含まれている。
・簡単明瞭である。 |
| 畿央市 (選定理由) | ・地域を表し、発展性のある名称である。 |

小委員会名簿（ 委員長 副委員長）

（敬称略）

市町村等	氏 名	備 考
学識経験者	中川 幾郎	協議会第 6 号委員（帝塚山大学教授）
上野市	今高 一三	協議会第 5 号委員
名張市	辰巳 雄哉	協議会第 5 号委員
伊賀町	森口 辰則	協議会第 5 号委員
島ヶ原村	奥西 繁	協議会第 5 号委員
阿山町	舩見 兼次	協議会第 5 号委員
大山田村	猪野 昭八	協議会第 5 号委員
青山町	松原 克文	協議会第 5 号委員